

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営 1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体の理念を共有している	○ 感動満足を基本とした独自の理念を考えたい
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人全体の理念となっている感動満足を利用者様やご家族様に感じていただけるよう取り組んでいる	すべての利用者様やご家族様に感動満足を感じていただけるようなサービスを行っていく
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族や地域の方々に理念について話す機会が少なく、浸透していない	○ 皆様が集まった時等に理念について話し、理解していただく
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	事業所は住宅地にあり、ご近所の方と顔を合わせる事が多い。挨拶は必ずしている	○ ご近所の方と交流を持ち、気軽に立ち寄ってもらえるようにする
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域女性会と定期的な交流を行っておる他、お祭り等地域の行事にも参加している	○ 老人会や子ども会等とも交流し、行事に参加したり、事業所内の行事にも来ていただけるようにする

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者と接する機会がなく、暮らしぶりが良くわからないので実施していない	○	老人会との交流を持ち、何か暮らしに役立つ事を実施したい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を行う意義は理解しているが、具体意的な改善はできていない	○	一つずつでも、出来る事から改善していく
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	他事業所の取り組みを聞き、参考にしている	○	地域の自治会役員に会議の参加を依頼し、意見を聞きサービスの向上に活かしていく
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	わからない事は聞いているが、必要以外に行き来はなく、連携はあまりできていない	○	サービスの質の向上のため、連携を図り情報交換等行っていく
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護の制度については知っているが、学ぶ機会がなく活用できていない	○	制度について学び、活用できるようにする
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	学ぶ機会が少ない	○	法律について学び、日々の言動にも十分注意する

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項や契約内容の説明は時間をかけて行っている	○	契約時に理念についても説明を行う
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や苦情は聞いているが、外部者へ表せる機会は設けていない	○	運営推進会議で報告する
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に報告している	○	事業所便り等を作成し、活用する
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や苦情は聞いているが、外部者へ表せる機会は設けていない	○	運営推進会議で報告する
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回会議を開き、意見を聞いている	○	個別に話し合いをする時間をもつ
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者様の状態に合わせてシフトを組んでいる		利用者様に状態に合わせてシフトを組む

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>新しい職員には前もって利用者様に情報を伝え、把握してもらっている</p>	<p>○</p> <p>離職しない環境づくりを心がけ、異動もできるだけなくす</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修には積極的に参加している</p>	<p>○</p> <p>研修で学んだ事を事業所内で活用し、実践していく</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者とは研修会等に機会しか交流できない</p>	<p>○</p> <p>他事業所と交流を持ち、どんな活動をしているのか等情報交換をしたい</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>希望休や連休をシフトの中に取り入れて、気分転換を図る</p>	<p>○</p> <p>勤務以外で食事会等集まる機会を持つ</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>研修や勉強会への参加を促し、学ぶ機会を作っている</p>	<p>○</p> <p>個々の実力を発揮できるような職場環境を作る</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	声かけをまめにする。家族から本人の生活歴を聞き、理解しておく	○	ゆっくりと時間をかけて信頼関係を築いていけるようにする
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	生活歴を聞きながら、家族との関わりについても聞いている	○	面会時以外にも電話等で連絡をとる
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームに入居できない場合は、他事業所を紹介している		他事業所のケアマネージャー等と連携をとり、早めの対応ができるようにする
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	リビングでの食事や入浴等、本人が嫌がったりする時は無理強いせず、慣れるまで本人のペースに合わせる		信頼関係を築けるような支援を心がける
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に暮らすという考え方で生活をしているが、職員中心になってしまう事がある	○	一緒に行える作業は少しずつでもしていただき、共に過ごす時間を多くする

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時やそれ以外にも電話等で近況報告している</p>	<p>○</p> <p>ささいな事でも相談し、本人にとって最良の事を共に考え支えていく</p>
29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>納涼祭等万葉の行事は前もってお知らせして参加していただき、一緒に過ごす時間を持てるようにしている</p>	<p>家族会の設立。ご家族様と利用者様が参加できる行事を企画する</p>
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>電話や面会に来てくださっているが、こちらからの連絡は行っていない</p>	<p>○</p> <p>馴染みの場所に行ったり、人に会える機会をつくる</p>
31	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者様の様子を見ながら、座席等を考えている</p>	<p>リビングの席を決めず、座りたいところに座っていただく</p>
32	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>退去するとそれきりになってしまう</p>	<p>○</p> <p>定期的にお便り等で連絡をとる</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個別ケアができるように努めている	○	発せられる言葉や行動から思いを感じとり把握する
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族から情報を得て把握に努めている		少しの事でも大切な情報になるので、職員内で共有する
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日の過ごし方が決まっておらず、総合的に把握できていない	○	センター方式等ツールを活用し、総合的に見ていく
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	話し合いの時間があまりない。意見が十分反映できていない	○	ご本人をはじめ、ご家族や関係者と話し合いの時間を十分持ち、介護計画を作成する
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に見直しを行っている。その他大きな変化があった時は見直しを行っている	○	見直しを行う場合には、話し合いの時間を十分設け、現状に即した介護計画を作成する

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録の記入は十分行っているが、介護計画の見直しには活かしていない	○	日々の言動や職員の関わり等も記録には記載しているので、それらの情報を見直し時に活かして、介護計画を作成する
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所内の機能を活かしていない	○	他事業所と連携をとり、できない部分を補えるようにする
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域資源を活かせる取り組みができていない	○	地域資源の知識を得て活用できるようにする
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	法人内のケアマネジャーとは必要に応じて話し合いを行っているが、他の事業所とは連絡をとる機会がほとんどない	○	地域の他のケアマネジャーとも連携をとり、幅広いサービスが提供できるようにする
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	協働は行えていない	○	地域包括支援センターの役割を活かし、必要に応じて協働できるようにする

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に主治医についてはご家族と相談して決めている。必要に応じて状態の報告をしている	○	連携をとり、急変時にも対応していただけるようにする
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に関しては、主治医に相談している	○	専門医との関係を築き、協力していただけるようにする
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設特養の看護師に必要に応じて相談している	○	日頃から健康状態に関して報告を行い、急変時にそなえる
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時はまめに面会を行っている。電話等で連絡を取り合い、退院後の支援がスムーズにできるようにしている	○	入院当初から連携をとり、グループホーム側の情報も伝える。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	主治医や家族を含めてカンファレンスの場を設けている	○	具体的な方針を共有する
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	「できる事・できない事」の見極め、今後の準備等は行えていない	○	主治医や家族と十分話し合いの場を持ち、取り組んでいく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の施設に移る場合はケアマネージャー等を通じて情報を伝え、ご家族にも十分説明を行っている		情報を伝えるとともに、話し合いも十分行う
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	リビングで記録を行っており、テーブルの上に置いたまま場を離れる事がある	○	個人情報の取り扱いには十分注意する
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	その都度ご本人には説明を行いなるべく決めていただいているが、おしつけになる事がある	○	その人らしい暮らしができるよう支援する
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合や業務中心になってしまう事が多くある	○	できるだけ希望に沿った支援を心がける
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	施設に出張してくださる店に依頼している	○	ご本人の望む店に行けるようにする

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	時々盛り付け等行ってもらうがほとんど職員がやってしまう。食後のテーブル拭きは決まった方がやってくれる	○	ご利用者それぞれに食べる量を伺い、目の前で盛り付けをする
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ご家族に協力いただき預っている。居室に冷蔵庫を置く事もでき保管している方もおられる	○	食べたい物をご自分で買えるように支援する
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	周囲の人に気づかれないように声かけしたり、自然に排便できるように工夫している	○	オムツを使用しない支援を続ける
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の希望は聞くが、時間については職員の数によってある程度決まってしまう	○	入浴剤を入れたりして楽しんで入浴されている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	様子を見ながら居室や畳スペースで休むよう、声かけ等行っている	○	時間だからと無理に起こしたりせず、一人ひとりのペースに合わせる
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	何もしていない時間が多く、気晴らしができていない	○	役割を持ち、意欲が向上できるように支援する


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人にお金の管理は難しく、所持していない	○	買い物の時に本人が支払いできるような支援をする
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	それぞれ希望はあるようだが、職員の都合上ほとんど出かけられない	○	職員を増やし、一日一回くらいは外にでられるようにする
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者様の希望を聞き、事業計画を立て実行している	○	家族も交えて個別に外出する機会をつくる
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は自由にかける事ができるので希望時は支援している。手紙も書ける方には支援している	○	ハガキや便箋を用意しておきいつでも書けるようにする。ご家族にも書いていただけるようお願いする
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	特に面会時間は決めず、いつでも訪問していただけるようにしている	○	周囲を気にせずゆっくり話ができるようなスペースを作る
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を中心に取り組んでいる		具体的な行為を理解し、今後も身体拘束をしない

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけない。ご本人の希望がない限り、昼夜とも居室には鍵をかけない		今後も鍵をかけないケアを実践する
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は見守り、夜間は2時間ごとの巡視を行っている		安全に過ごせるよう十分配慮する
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険と思われる物は持ち込み禁止にしている	○	安全な保管方法を検討する
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	日頃から事故防止に努め、万が一起きてしまったときは報告書を提出し原因について検討を行い、再発防止に役立てる	○	一人ひとりの状態を把握し事故防止に努める
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当や初期対応は一通りできるが、定期的な訓練は行っていない	○	月1回のミーティング時等を利用し、確認や訓練を行う
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の避難場所は協力いただいている。ご利用者様が避難できる方法は身につけていない	○	一人ひとりの避難方法を職員が把握する。地域の皆さんと話し合う機会を持つ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	生活上起こり得るリスクについてはご家族様に十分説明し、理解いただいている	○	リスクがあってもなるべく抑制をしない支援を心がける
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	少しでも様子の違う時はバイタルチェック等による異変の発見を行い、すみやかに対応する	○	一人ひとりの正常値を見極める。小さな変化も見逃さない
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに内服薬の説明が入っており、いつでも見られるようにしてある		情報を共有し、内服に関しては主治医に相談している
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	出来るだけ薬を使わず排便できるように心がけている。		乳製品の摂取・水分を多く摂る・体をまめに動かす等して、自然な排便を心がける
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	キッチンに歯ブラシ・歯磨き粉・コップを用意し、食後すぐ口腔ケアが行えるようにしている		夜間は義歯を外していただく
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は栄養士が立てているが、食べる量にばらつきがある。水分は制限のある方以外こまめに摂っていただいている		野菜不足の方には野菜ジュースを飲んでいただく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症委員や看護師が中心となりマニュアルを作り、それに沿って実行している		マニュアルの徹底
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	キッチンで作った物に関しては、検食をとり2週間保存している		マニュアルに沿った衛生管理を行う
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関はディサービスと共通であり、ディサービスの職員が中心になって花を飾ったりしている	○	グループホームとしての部分も取り入れる
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感や季節感があまり感じられない	○	季節の花を飾ったりして生活感を出す
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングはテーブルが2つに分かれており、好きな場所に座る事ができる。畳スペースもあり、自由に使える	○	ソファや椅子を配置し、テーブル以外の場所でもくつろげる場所をつくる

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使用していた物を持ち込んだり、カレンダーや写真を貼ったりしてご本人の好みに合わせている</p>	<p>○</p>	<p>ご本人が出来ない場合は、職員が掃除や整理整頓を行う。タンス内の衣類や冷蔵庫の食品等にも注意する</p>
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の様子がないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>24時間換気システムの導入</p>		<p>乾燥に十分気をつける</p>
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>センサーにより電気が点灯する場所もあり、安全には配慮したつくりになっている</p>	<p>○</p>	<p>目の届かない場所もあるので、必要に応じて福祉用具の活用もしていく</p>
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>表情等を見て声かけを行い、過剰な支援をせず、本人の力でできるようにする</p>		<p>センター方式等のツールを活用し、一日の行動パターンを把握する</p>
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ベランダに出る事はあまりなく、活用していない</p>	<p>○</p>	<p>花を置いたり、住居の一部として活用していく</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

くもん学習療法を導入し、認知症の改善や進行の緩和に取り組んでいます。脳の活性化は意欲の向上にもなります。皆様が自分らしく生き生きとくらす事を目標にしています。